

朝日寺だより

庄田山 朝 日 寺

発行所：〒701-42 邑久郡邑久町庄田1207番地

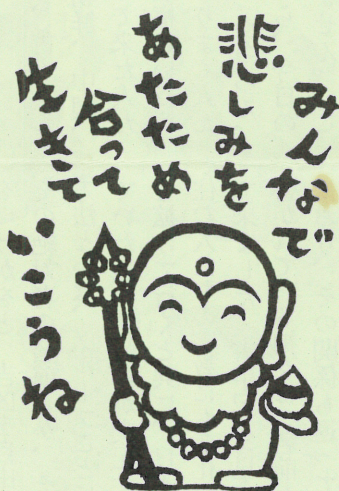
電話 (08692) 5-0739

おぼん・・・みつめましょう 私たちの生命・真心・いま

人はどこから生まれてきて、どこへ行くのでしょうか。

私たちは、父母を直接の「縁」として生まれましたが、その父母もまた各々の父母を「縁」として生まれてきました。この不思議な「縁」（つながり）を深く考え、この「つながり」即ち、祖先をはじめ縁ある方々へ感謝と報恩の誠を捧げる行事が「おぼん」です。

昔から、出会ったものは必ず別れるのが定めだとして、『会者定離』という言葉があります。しかし、「おぼん」こそは、まさに『離者定会』とも言える心やさしいならわしなのです。別れて遠くへ旅立った御霊が、わが家へもどって、子や孫に出会うとは、まことにほのぼのとしたものがあります。



「おぼん」とは、もともと「ウランバナ」からきた言葉で、『逆さまに転倒した苦しい状態を、まっすぐになおす。』という意味になります。

今までの自分本位の発想を、百八十度転換し、その生き方を改めて考え、いろいろな恩に感謝することを教えているのです。

おぼんには・・・

- 人の心の「あたたかさ」を今一度振り返ってみましょう。
- 出会いを大切にし、何ごと丁寧にしましょう。
- 欲張らず自分のできることで、まわりにご恩返しをしましょう。

一年に一度、夏にめぐってくる「おぼん」は、日本人の心をなつかしさでいろどり、何とも言えぬすがすがしさで包んでくれます。いつまでも、いつまでもこのうるわしい行事を続けていきたいものです。

ウランバナ（インド）

↓ 孟蘭盆（中国）

↓ お盆（日本）